

**令和6年度 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会
議事概要**

■日 時：令和7年2月25日（火） 10：00～12：00

■場 所：西播磨総合庁舎大会議室

■出席者：別紙

■議 事：

- （1）西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画改定（案）について
- （2）今後のスケジュール

■報 告：

- （1）令和6年度の防災気象情報の改善について
- （2）洪水予報文等（PDF形式）の様式変更について

■配布資料：

次第、出席者名簿、配席図

資料1 計画改定の経緯

資料2 改定の方針

資料3 計画改定の概要

資料4 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画（本編）（案）

資料5 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画（資料編）（案）

資料6 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画フォローアップシート（案）

資料7 令和6年度の防災気象情報の改善について

資料8 洪水予報文等（PDF形式）の様式変更について

参考資料1 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱

参考資料2 令和5年度第1回西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会議事概要

参考資料3 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進協議会公開要領〔準則〕

●議事

- (1) 公開要領第 11 条 2 項に基づく議事録に関する構成員の指名について
相生市 松尾建設農林部長が指名された。
- (2) 計画改定の経緯について
資料 1 を用いて事務局が説明した。
- (3) 改定の方向性について
資料 2 を用いて事務局が説明した。
- (4) 計画改定の概要について
資料 3 を用いて事務局が説明した。
- (5) 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画（資料編）（案）について
資料 5 を用いて事務局が説明した。
- (6) 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画（本編）（案）について
資料 4 を用いて事務局が説明した。

意見（宍粟市）：気候変動の影響など環境が大きく変化している中で計画期間の 10 年間は長いのではないかな。中間見直しを行ったほうがよいのではないかな。

回答（事務局）：毎年のフォローアップを行っていき、適宜見直すことで対応したい。

回答（総合治水課）：インフラ整備プログラムで今後 10 年間の計画を策定しているが、5 年で見直す予定となっている。この時に推進計画についても見直しを行う予定である。

質問（会長）：下水道について、計画地域内は分流方式となっているのか。その場合、本計画の対象は雨水下水道が対象で、汚水下水道は対象外となるのか。

回答（事務局）：計画地域内は分流方式となっている。また、雨水下水道を対象としている。

質問（会長）：埼玉県で下水管の老朽化による陥没事故が発生した。兵庫県として、下水道の管理をどのように考えていくのかということを意見した。

質問（会長）：ハザードマップの取組について、保険業界がハザードマップを踏まえて水害リスクが高い地域で保険料を高く設定するなど新しい試みを行っている。兵庫県では保険業界との意見交換等も予定しているのか。

回答（総合治水課）：保険業界との意見交換はしていない。3次元の新たなハザードマップも出てきており、大学との意見交換は行っている。

質問（会長）：最先端の技術との連携は重要であるが、高齢者の方が活用できるようにケアすることも重要である。

質問（西山委員）：本編 p6 の河川対策の中で、堆積土砂の撤去について記載されているが、土砂の撤去を行う目安などがあれば教えていただきたい。

回答（光都土木河川砂防 1 課）：令和 3 年度にレーザー測量を実施し、千種川の阻害率などを算出してい

る。以前は概ね3割を目安としていたが、現在では合流点など流れが悪い箇所などを対象に土砂の撤去を行っている。地元で気になる箇所については、市町にお伝えいただければ、市町経由で県に要望が届くので、県で測量を実施したうえで土砂撤去の必要性を判断する。

質問（会長）：民間企業の応援とはどのようなものがあるのか。

回答（事務局）：建設会社の支援や、物資供給などがある。

質問（会長）：防災教育は小・中学校、高校などがターゲットとなるのか。出前講座だけでは受講者が限られる。学校の先生方に勉強してもらい、生徒に伝えてもらうようになっているのか。

回答（総合治水課）：工業高校では継続的に授業を取り扱っているが、小中学校ではカリキュラム的にそこまでの対応は難しい。できるだけ防災教育を進めるため、学校への出前講座に注力するとともに、総合治水の展示会を年一回実施している。また、今年度は県としては初めてマイタイムライン講習会を西脇市で行った。

- (7) 西播磨西部（千種川流域圏）地域総合治水推進計画フォローアップシート（案）について
資料6を用いて事務局が説明した。

質問（会長）：計画と実績は概ね一致するのか。

回答（総合治水課）：流域対策は施設管理者との調整などがあるため、予定がずれることがある。河川対策や減災対策は計画通り進みやすい。

- (8) 今後のスケジュールについて
事務局より年度内に公表を行う予定を説明した。

- (9) 令和6年度の防災気象情報の改善について
資料7を用いて神戸地方気象台が説明した。

質問（会長）：線状降水帯は災害につながることが多いが、線状降水帯でなくても豪雨リスクはある。線状降水帯にこだわる理由を教えてください。

回答（神戸地方気象台）：世間的に認知度の高いパワーワードであり、大災害につながると認知されているため、線状降水帯の情報を提供することで避難につながることを期待される。一方で線状降水帯が発生しないならば大丈夫と誤解されないよう、線状降水帯というキーワードを活用しながら、それ以外の大雨も対象に精度向上を図っている。

- (10) 洪水予報文等（PDF形式）の様式変更について
資料8を用いて神戸地方気象台が説明した。

（以 上）

所 属		職 ・ 氏 名		備考
学識経験者	埼玉大学	教授	小林 健一郎	
国	神戸気象台	台長	吉野 昌史	
兵庫県	西播磨県民局	局長	城下 隆広	
市町	相生市	建設農林部長	松尾 次郎	代理
	たつの市	危機管理監	小松 精二	代理
	赤穂市	市長	牟礼 正稔	
	宍粟市	副市長	富田 健次	代理
	上郡町	町長	梅田 修作	
	佐用町	副町長	江見 秀樹	代理
県民委員	相生市連合自治会	会長	山田 勝利	
	たつの市西栗栖地区角亀自治会	会長	高野 良雄	
	宍粟市千種町河内自治会	会長	林 隆政	
	上郡町連合自治会	会長	西山 武彦	

議事録確定署名人

会 長：埼玉大学 教授

小林健一郎

委 員：相生市建設農林部長

松尾次郎